

資料No. 7

江田島市公共交通協議会
平成30年3月22日

平成30年度事業計画及び歳入歳出予算(案)について

1 基本方針及び目標

江田島市地域公共交通網形成計画に基づき、次のとおり定める。

【基本方針】

協働と交流をベースに地域の「まとまり」と「つながり」を守る公共交通ネットワークをつくります

- <目標1>最適な公共交通ネットワークの構築
- <目標2>交通結節点における機能の向上
- <目標3>利用環境の改善による利便性等の向上
- <目標4>観光の強化による利用者の増加
- <目標5>地域で公共交通を支えるための意識の醸成

2 公共交通協議会の開催

公共交通が抱える問題の解消や最適な公共交通ネットワークの構築等に、関係者が連携して取り組むため、随時、公共交通協議会を開催する。

地域公共交通網形成計画に位置付けた各事業の推進・管理については、公共交通協議会が担うこととし、毎年、PDCAサイクルによる評価・検証を行う。

また、必要に応じて、陸上分科会や海上分科会などを開催し、関係者間の連携や調整を図る。

3 平成30年度事業計画(案)

(1) おれんじ号等の運行委託【事業費 17,873 千円】

おれんじ号江田島北部線・沖美北部線・沖美南部線及び江田島北部朝夕便の運行委託を行う。

運行実績などに基づき、陸上分科会や公共交通協議会で協議を行い、運行基準に応じた見直しを行う。

(2) 地域公共交通網形成計画の推進【事業費 4,492 千円】

計画に位置付けた事業について、市が中心となり、関係者間で具体的な調整や検討を進めるとともに、可能なものについては、その具現化を図る。

目 標	事 業	実施主体
<目標1> 最適な公共交通ネットワークの構築	①海上交通と陸上交通の連携強化	利用者等 交通事業者 観光協会等 市
	②路線バス（幹線・支線）系統やダイヤの見直し	
	③おれんじ号の利便性向上	

＜目標 2＞ 交通結節点における機能の向上	①乗換環境の充実	交通事業者 商業施設等 市
＜目標 3＞ 利用環境の改善による利便性等の向上	①運賃負担感の軽減策の検討	交通事業者 市
	② I Cカードの導入	
	③バリアフリー化の推進	
	④わかりやすい公共交通情報の提供	
＜目標 4＞ 観光の強化による利用者の増加	①公共交通を活用した観光ルートの開発	交通事業者 観光協会等 市
	②観光客に向けた情報発信力の強化	
＜目標 5＞ 地域で公共交通を支えるための意識の醸成	①公共交通の利用促進と地域との意見交換会の開催	利用者等 交通事業者 市

(3) インターネットなどによる情報提供【事業費 1,596 千円】

路線検索ホームページ及びバスロケーションシステム「BUS i t」の管理運営や、運航(行)休止情報などのメール配信等により、利用者の利便性向上を図る。

また、市広報誌を活用し、お盆ダイヤ及び年末年始ダイヤの周知や、連載記事の掲載を行う。

(4) 国道 487 号交通量調査【事業費 500 千円】

江田島市で唯一、陸路で本土と繋がる早瀬大橋断面における自動車交通量を調査し、経年変化や第二音戸大橋架橋等の影響を把握する。

(5) その他

その他公共交通協議会が必要と認めた事業を実施する。